

当院における異常所見緊急報告体制の構築と問題点

つがる総合病院 診療画像情報部 ○佐藤 栄博 (Sato Hidehiro)

佐藤 航大 工藤 和哉 船水 憲一

【背景】

2018年1月15日、医療安全セーフティマネージャー部会において臨床検査科のパニック値に関する取り決め事項とともに、診療画像情報部の画像関係に関しても取り決めてはどうかということが提案され、異常所見緊急報告体制の構築となった。

従来、この件に関しては自主的に行われてきていたが、院内の取り決め事項としては初めてであり、構築の内容とその際に生じた問題点を報告する。

【方法】

主な報告事項の内容とその手順、記録、マニュアル作成を検討した。

記録に関しては、Radiology Information Systems: (以下RIS)にその内容を記載するとともに、Hospital Information Systems (以下HIS)にも残すようにした。

異常所見緊急報告の対象となる検査は、医師の付き添いのない診療放射線技師が単独で行う通常検査であり、CT、MRI、一般撮影、ポータブルとした。

少なくとも検査当日診察するものや入院・外来含めての緊急検査では、オーダーした医師がすぐに結果の確認をするため対象外とした。

異常所見緊急報告の目的であるが、通常検査で患者様に検査結果を当日報告しないものに対して、生命の危機、容態の急変につながる画像が得られた場合、あるいはそれに準ずる内容で、診療放射線技師が医師に至急連絡することが医療安全上妥当と判断した場合に報告する。したがって、外来患者様の帰宅に対しての問い合わせと、入院患者様に対して緊急性の高い新たな所見の報告が目的である。

異常所見緊急報告の手順としては、まず異常所見の発見後、検査画像データをサーバーへ送信する。次に、検査依頼医師に電話連絡して外来受診か帰宅可能かの判断を仰ぐ。その後RISの検査コメント欄に、報告した医師名、報告者名、報告事項を記録する。同時にHISにもコメントが送信される。次回の参考となるようRISの患者メモ欄にもコメントのコピペで記録する。報告時は検査結果を決定するような用語は避け、あくまでも診断、判断は主治医が行うというスタンスは崩さないこととした。

異常所見として報告される例としてDR(一般撮影、ポータブル)では皮下埋没型中心静脈留置カテーテル(CV カテーテル)の断裂、CV カテーテル施行術中の走行異常、ペースメーカー植え込み術後の気胸、一般撮影時の気胸(first timeのみ)、ペースメーカーまたは植え込み型除細動器のリードの断線であり、CTでは脳出血、硬膜下血腫、硬膜外出血、くも膜下出血、肺動脈血栓、大動脈解離、脊髄損傷、MRIでは、頭部出血、梗塞、

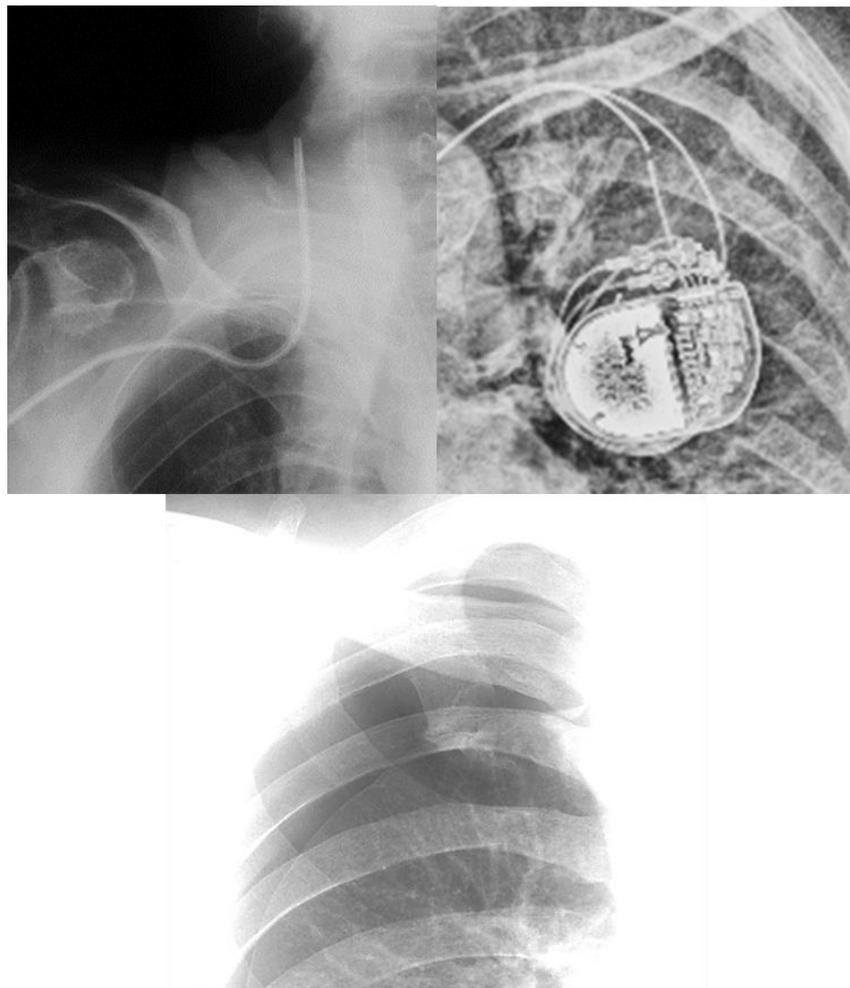


Fig.1 DRの異常所見緊急報告例

MAR-BPASミスマッチ、高度な脊髄圧迫病変、化膿性脊髄炎、腸腰筋膿瘍等である。

DR、CT、MRIいずれも近々の検査に対するフォローアップであるならば報告はしないが、病変の明らかな拡大、悪化している等であれば報告の対象としている。

検査に対する理解を促すために、検査報告例を記載したマニュアルを医局に配布した。マニュアル内の報告例には番号を付加し、電話越しでもわかるようにした。

【結果】

医療安全委員会を通すことにより、異常所見時、躊躇なく報告できる環境となった。しかしながら、検査終了後の画像確認の作業に時間がかかるようになった。例えば、前回同様の所見かどうかの確認や、レアケースに関してである。また、マニュアルの検査報告所見例以外のものも技師判断で報告する症例もでてきた。

【考察】

医療安全委員会という院内組織で決定されたことにより、報告がしやすくなったとともに、責任が重くなったため、記録は必須であると考えられた。検査画像を十分に確認する環境あるいは時間がない限り、報告記録は、必要最低限にすべきである。報告は原則として検査依頼医師ではあるが、依頼医師が把握していても担当科に伝わっていない場合があるため、科としての情報共有ができる環境を整備すべきである。

【まとめ】

当院における異常所見緊急報告体制の構築と問題点に関して報告した。

単科でいろいろ決定するよりも、医療安全委員会を通すことにより、院内全体の決定事項とすることが可能となった。

画像所見の診断ではなく、生命危機、容態急変に繋がる可能性がある画像の報告であるため、悩まず報告することが重要である。

【参考文献・図書】

- 1) 須田 章則 JCI更新に伴ったSTAT(緊急)検査報告体制構築の取り組み 日臨救急医学会誌 2016;19:522-6

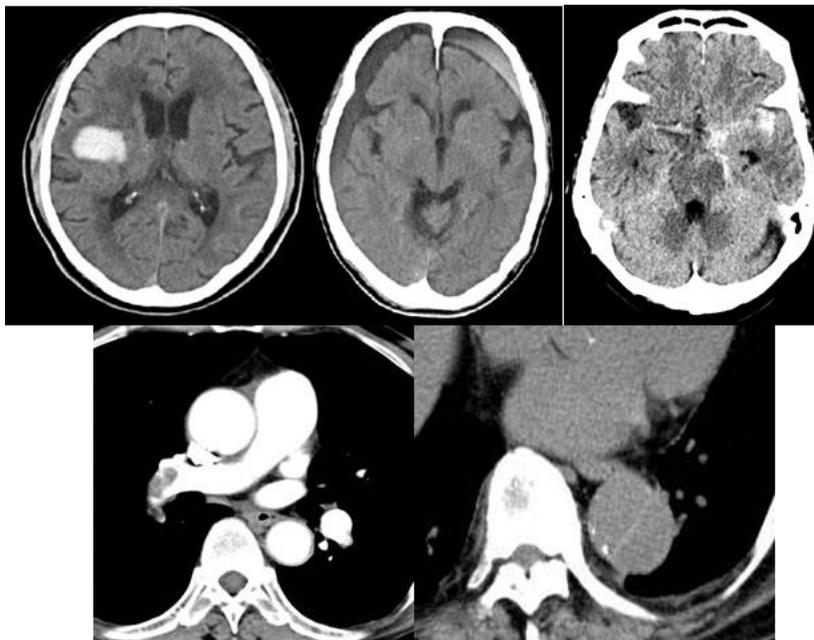


Fig.2 CTの異常所見緊急報告例

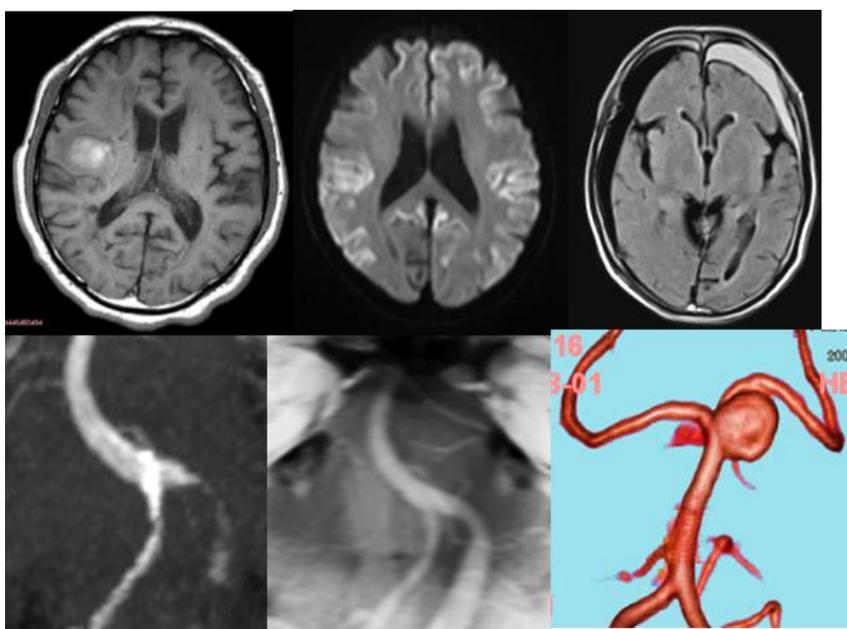


Fig.3 MRIの異常所見緊急報告例